



TITLE:

支那貿易二就テ (大禮記念號)

AUTHOR(S):

戸田, 海市

---

CITATION:

戸田, 海市. 支那貿易二就テ (大禮記念號). 經濟論叢 1915, 1(5): 32-63

ISSUE DATE:

1915

URL:

<https://doi.org/10.14989/126923>

RIGHT:

經濟論叢

# 大禮記念號

京都帝國大學  
法學部  
京都法學會

# 支那貿易ニ就テ

教授 法學博士 戸田 海市

一、支那貿易ノ重要義

二、對支輸出品ノ品質ノ改善

三、對支輸出品ノ生産組織ノ改善

四、支那固有品ノ生産

五、支那物産ノ輸入利用

六、支那ニ於ケル工業投資

## 一 支那貿易ノ重要義

支那ニ對スル經濟關係ヲ如何ニ發展セシムヘキヤハ、既往ニ於テモ我カ對外經濟策上最モ重要ノ問題デアツタガ、今次ノ歐洲戰爭及日支新條約ニ由テ此問題ハ更ニ重要ノ度ヲ加ヘタ。元來特定ノ外國ニ對スル經濟關係ヲ研究スルニハ、資本及勞

勸ト云ヘル生産要素ノ相互移轉關係ト、商品ノ相互移轉關係即チ貿易トニ分ツテ觀察スルコトモ有益ナ方法デアル。例ヘハ日米ノ經濟關係ヲ研究スルニハ、貿易ノ外ニ移民ノ問題ヲ等閑ニ附スルヲ得ナイ。又日英ノ經濟關係ヲ研究スルニハ、貿易ノ外ニ是非トモ資本貸借ノ關係ヲ考ヘサルヲ得ナイ。支那ニ對スル經濟關係ニ在テモ生産要素移轉ノ問題ハ存在スル。無論支那ヨリ之ヲ受入ルル關係テハナク、我ヨリ之ヲ支那ニ移シ入レル積極的關係ニ於テアルガ、我國ヨリモ生活程度ノ低キ支那ニ多クノ勞働ヲ移スコトハ至難ノ業デアル。此移民問題ハ今次ノ條約ニ由テ雜居ヲ認メラレタ滿蒙ニ付テ起ルノテアルガ、之ニ我人口ヲ移植スルコトハ朝鮮移民ト同程度以上ノ難事デアル。滿蒙ニ對スル生産要素移轉ノ問題トシテハ其土地ニ對スル投資カ更ニ重要テアツテ、移民ハ主ニ政治的意義ニ於テ研究セラルヘキ問題デアル。更ニ滿蒙ヲ初メ一般ニ支那ニ對スル投資起業ノ問題ハ近來次第ニ重要トナリツツアルガ、併シ從來資本ノ豐富ナル歐米諸國ノ行ヒシ如キ大規模ニシテ目前ノ收益ニ多ク拘泥セサル資本固定ハ我國ニハ不適當デアル。固ヨリ經濟上ノ理由ノ外ニ政治上ノ意義ヨリシテ此ノ如キ投資ヲ必要トスル所ノ利權ヲ獲得スルコトモ場合ニ由テハ必要デアルガ、經濟上更ニ重要ナモノハ比較的小資

易ヲ發展セシムル爲メ又ハ貿易品ヲ生産スル内地産業ノ地位ヲ強固ニスル爲メ  
ノ投資カ重要テアル

日支經濟關係ノ中最モ重要ナモノハ貿易テアル。此貿易ノ特色ハ農產物其他加工  
程度ノ小ナル貨物ヲ彼ヨリ輸入シテ、加工程度ノ大ナル貨物就中工場工業ノ生産  
物ヲ我ヨリ輸出スルコトデアル。商工業ノ發展ニ力ヲ注クコトヲ要スル我國ニ取  
ツテ、此貿易ハ非常ニ發展スルノ可能ヲ有スル重要ナモノデアリ、世人カ往々我經  
濟ノ進歩ハ主ニ日支貿易ノ發展如何ニ係ハルト説クハ必シモ過言テナイ。而シテ歐  
洲戰爭ノ日支貿易ニ及ホセル影響ハ頗フル複雑ナモノデアルガ、概シテ云ヘハ之  
ニ由テ日支貿易ハ今後益重要ナモノトナル。戰時ニハ勿論戰後ニ於テモ支那ガ從  
來ノ如ク歐米ヨリ年々巨額ノ資本ヲ輸入スルコトハ困難トナリ、從ツテ支那ノ富  
源ノ開發モ後レ、又支那人ノ外國品ニ對スル購買力ノ増進モ後レル。此點ハ日支貿  
易ニ對スル最大ノ惡影響デアルガ、同時ニ戰前ノ如ク歐米ノ富強國カ競フテ支那  
ニ重大ノ利權ヲ獲得シ、其極遂ニ資本ノ力ニ由テ支那分割ヲ實現セントスルカ如  
キ危險モ今後ハ大ニ減少シ、結局支那ノ經濟財政ヲ健實ニ發達セシムルノ望カ大

トナツタコトハ喜フヘキテアル。歐洲交戰國ニ對シテ戰爭中最モ多クノ物資ヲ供給スル國ハ米國テアル。如ク、戰後ニ於テ戰爭ニ由ル物質生活上ノ大破壊ヲ修復スルニ必要ナル物資ヲ最モ多ク供給シ得ル國モ米國テアリ、從ツテ今後米國ノ購買力カ増加シテ日米貿易モ之カ爲メニ増進シ、一時或ハ對米輸出額カ遙カニ對支輸出額ヲ超過スルニ至ルコトモアルテアラウカ併シ我國カ米國ニ供給シ得ル貨物ハ生糸製茶ヲ初メトシテ一般ニ加工程度ノ低キ貨物デアリ、高級工業品ヲ多量ニ之ニ供給スルコトハ殆ント不能テアルニ反シ、支那ニ對スル輸出ハ科學ト資本トノ力ニ由ル高級工業品カ益重要ノ部分ヲ占ムルコトナル故、此貿易ハ我經濟ヲ工商業化シテ進歩セシムルニ付キ更ニ重要ノ意義ヲ有スル。目下歐洲交戰國ニ對シテハ軍需品ノ供給カ可ナリ多額ニ達シ、又戰後ニ於テモ交戰諸國ノ物價平準カ高位ヲ保ツモノトスレハ、之ニ對スル輸出ハ相當ニ増進スルテアラウカ併シ我國ハ銅以外ニ此等諸國ノ戰後ニ最モ必要トスル重要貨物ヲ供給スル能力カ乏シキ故、之ニ對スル輸出ヲ著シク増進スルコトノ困難ナルノミナラス、交戰國ハ戰後ノ財政ヲ維持スル必要カラ見テモ、物價平準ノ高キ爲メ輸入超過トナツテ正貨ノ流出スルコトヲ防クノ便宜カラ見テモ、將タ戰爭中ニ勃興セン有要ノ新事業ヲ保護

スルノ手段トシテモ彼等ハ一般ニ輸入税ヲ引上ケルコトト考ヘラルルガ之ヲ引上クルニ於テハ我カ對歐輸出ハ大ナル障礙ヲ蒙ラサルヲ得ナイ。從ツテ又吾人ハ夫レ丈ケ多ク支那ニ發展スルノ必要カアル。舊テ論シタ如ク戰爭中ニ暴騰セシ歐洲ノ物價カ戰後舊位ニ低落スルコトハ容易テナク、特ニ輸入税ヤ内地税ノ増加ヲ行フトキハ、其低落ハ益困難トナラサルヲ得ナイガ、此事タルヤ我國カ支那ノ市場ニ於テ歐洲諸國ト競爭スルニ付キ大ナル強味テアル

京都法學會雜誌第九卷第十二號歐洲戰爭ノ我經濟ニ及ホス影響參照

## 二 對支輸出品ノ品質ノ改善

對支貿易ハ今後益之ヲ發展セシムルノ可能ナルト同時ニ甚タ必要ナルハ上述ノ如クテアルガ、之ヲ發展セシムルニハ從來我產業界ノ採リ來ツタ方針ニ不適當ノモノカ少ナクナイ。先ツ輸出ノ方面ニ付テ見ルニ、輸出品ノ主ナルモノハ綿糸布ヲ初メトシテ工業品テアルガ、予輩ハ茲ニ此輸出品工業ニ於テ改善ノ急ヲ要スルト認メル三點ヲ舉ゲテ研究スル。其第一ハ輸出品ヲ生産スル一般ノ工業就中對支貿易上最モ重要ノ意義ヲ有スル工場工業カ、從來ノ如ク粗大ノ加工ヲ爲セル低級品ノ生産輸出ニ重キヲ置クノ方針ヲ改メ、今後ハ高級品ノ生産輸出ニ對シテモ大ニ

努力スヘキコトアル。固ヨリ支那ニ於テ最モ多ク需用セラルルモノハ低級品テアルガ、併シ其都會及富裕ナル地方ノ高級品ニ對スル需用ハ決シテ少ナクナイ。現ニ從來歐米諸國ノ工業品ハ此種ノ需用ニ應スル爲メニ輸入セラレタ高級品テアルガ、我工業ハ戰爭中ハ勿論戰後モ永久ニ歐米品ニ取ツテ代ハルノ決心カナクテハナラス。高級品ノ生産ヲ盛ンニシテ支那市場ニ發展スルノ必要ハ識者ノ夙ニ認メタ所テアツタガ、今次ノ戰爭ハ此方針ヲ決行スルニ付キ無二ノ好機會ヲ與ヘタノテアル。而シテ此方針ヲ採ルノ必要ハ從來屢論述シタガ、之ヲ約言スレハ低級品ノ生産ニ付テハ支那自身ノ能力カ次第ニ進歩スルト同時ニ、我國カ之ヲ生産スルコトハ次第ニ利益トナルコトテアル。我カ對支輸出品ノ大宗タル綿糸ニ付テ見テモ、近來支那ニ於ケル紡績業ノ發達ハ頗フル顯著テアリ、一部ノ専門家ノ間ニハ十年後ニ至ツテ我國ヨリ二十手以下ノ太糸ヲ支那ニ輸出スルコトハ不能トナリ、此ノ如キ低級品ハ却ツテ之ヲ支那ヨリ我國ニ輸入スルコトヲ利益トスルノ日モ遠クハアルマイト云フ意見カアル。摺付木ノ生産ノ如キモ支那ハ我國ヨリ重要ノ原料ヲ輸入シテ可ナリノ發達ヲ示シツツアル。其他多數ノ雜貨ニ付テモ低級品ニ至ツテハ支那ノ工業カ次第ニ自立シツツアル。



必要ナク、主トシテ婦女幼少者モ容易ニ熟達シ得ルカ如キ簡易ノ勞働ニ依頼スルモノテアル。故ニ之ヲ經營スルニハ支那ニ於ケルカ如ク至廉ノ勞働ノ豊富ニ存在スルコトカ最モ有利テアル。然ルニ我國ニ於テハ經濟ノ進歩ニ伴フテ熟練勞働ト不熟練勞働トヲ問ハス一般ニ勞銀カ次第ニ騰貴スル故、夫レ丈ケ低級品ノ生産カ不利益トナル。近來我紡績業ニ於テ女工ノ募集費カ次第ニ増加シ、時トシテハ女工一人ニ付キ數拾圓ヲ要スル場合ヲ見ルニ至ツタガ、此事タル經濟ノ進歩スルニ從ツテ廉價ナル低級ノ勞働ヲ得ルコトノ漸次困難トナリツツアルヲ示スモノテアル。又今日支那印度等ニ對スル輸出品ノ中ニハ内地向キヨリモ一層下等ノモノヲ特別ニ生産スル場合モ少ナクナイガ、此ノ如キ特別ノ生産ハ内外市場ニ共通スルモノニ比シテ產額カ少ナク、從ツテ大量生産ニ由テ生産費減少ノ利益ヲ得ル能ハサルノミナラス、此ノ如キ特別品ハ何等カノ原因ニ由テ輸出ノ不振ニ陥ツタ場合ニ、内外共通品ノ如ク之ヲ國內市場ニ於テ處分シ難イト云フ企業ノ危險モ伴フヲ居ル。故ニ今後支那ニ於テ低級品ノ工業カ發達スルニ從ヒ此種ノ生産ハ益不利ニ陥ラサルヲ得ナイ。

今日我企業家カ高級品生産業ノ新設擴張ニ躊躇シツツアル重大ノ原因ハ、戰後ニ至リ歐洲品カ以前ノ如ク低廉ニ支那市場ニ侵入シ、我工業ハ一敗地ニ塗ルルノ運命ニ陷ルテアラウト考ヘルコトテアル。併シ乍ラ曾テ論セシ如ク戰爭中ニ暴騰セシ歐洲諸國ノ物價平準ハ、戰後ニ於テ以前ノ低位ヲ恢復スルコトカ頗フル困難テアルト斷定スヘキ充分ノ理由カアル。故ニ我企業家ハ此際躊躇シテ徒ラニ好機ヲ逸シテハナラヌ。特ニ目下諸事業不振ノ爲メ資本ノ過剩ニ苦ルシムノ狀ヲ呈シツツアルコトハ、一般ニ資本ノ力ヲ要スルコトノ多キ高級品生産業ノ新設擴張ニ取ツテ非常ノ利益テアル。只タ企業家カ此種ノ生産ヲ發達セシムル爲メ特ニ注意スヘキハ、職工ノ技能ヲ進歩セシムルコトニ大ナル努力ヲ爲スノ必要ナコトテアル。勿論之ヲ進歩セシムルニハ國家モ此際大ニ努力スルコトヲ要スルガ、企業家ハ第一ニ勞銀ノ低廉ナト云フ日前ノ利益ノ爲メ低能ナル婦女少年ヲ妄リニ多ク使用スルコトヲ止メ、壯年男子ヲ多ク使用シテ永久的ノ熟練職工ヲ作ラシハナラヌ。第二ニ如何ナル種類ノ勞働者ヲ使用スルヲ問ハス、工場ノ設備ヲ不完全ニシテ過度ノ勞働ヲ課シ、以テ勞働者ノ生命健康ヲ損スルカ如キ方法ヲ避ケモハナラヌ。此點ヨリ見テ工場法ヲ實施スルコトハ此際特ニ必要テアル。世人或ハ歐洲交戰國カ戰

戰爭中勞働者保護法ノ實行ヲ停止セルモノ多キヲ見テ我國モ戰爭ノ終ルマデ工場法ノ實施ヲ延期スヘシト論スル者モアルガ予輩ハ此論ニ反對セサルヲ得ナイ

### 三 對支輸出品ノ生産組織ノ改善

對支輸出品ノ生産上改善ヲ要スル第二ノ重要ナ點ハ其企業組織ニ關スルモノナル。絹糸布以外ノ多數ノ輸出品ハ多ク家内工業組織ニ由テ經營セラレテ居ルガ、此組織ヲ探レル原因ハ勿論適當ナ機械ノ發明ヤ巧妙ナル分業方法ノ工夫カ起ラス、又工場工業ヲ設クルニ必要ナ資本ヲ得難イト云フ事情モアル。併シ中ニハ工場組織ヲ探ツテ充分家内工業ニ對抗スルコトハ出來ルガ、只タ企業者ハ之カ經營ニ資本ノ固定ヲ必要トセサル家内工業組織ヲ探レハ、事業不振ノ場合ニ臨ンテ忽チ生産ヲ縮小シ、其損失ヲ勞働者ニ轉嫁シ易キニ反シ、工場組織ヲ探ツテ資本ヲ固定スルトキハ此ノ如キ危險轉嫁ノ途ヲ失フコトヲ恐ルルカ爲メ、故ラニ家内工業ヲ撰ムト云フ場合モ決シテ少ナクナイ。低級品ノ生産ニ付テハ支那ノ工場工業カ次第ニ發達シテ我工業ノ前途ヲ危カラシムルコトハ前ニ述ヘタ所ナルガ、工場工業ヨリモ組織ノ一層簡單ニシテ之ニ要スル勞働ノ一層低級ナル家内工業ニ至テ

ハ、此危險カ更ニ甚タ大テアルコトハ明白テアル。故ニ危險轉嫁ト云フ一時的ノ利益ノ爲メニ家内工業組織ヲ探ルコトハ、永久其輸出杜絶ノ損失ヲ招ク姑息ノ策テアル。況ンヤ世人ガ輸出ノ上ニ起ル危險ト稱スル場合ヲ見レハ、商業道德上批難ヲ受ケ信用ヲ失フテ事業ノ不振ニ陥ル場合ヲモ含ンテ居ルノテアルガ、此ノ如キ信用失墜ノ一大原因ハ下ニ論スル如ク家内工業組織ヲ探ルコト自身ニ由ルモノテアルトスレハ、之ヲ工場組織ニ改ムルノ必要ナルコトハ一層明カテアル。

勞働者個々ノ家庭ニ於テ不規律ニ勞働ヲ爲ス所ノ家内工業ニ在テハ、監督ノ嚴重ニ行ハレナイ爲メニ粗製濫造モ起リ、特ニ其製品ハ區々不整トナル爲メ見本ト現品トノ相違モ生シ、仕事ノ進行ノ不規則ナ爲メニ契約ノ期限ニ至ツテ全部引渡ヲ厲行スルコトモ困難トナル。家内工業組織ヲ探ルトキハ、此ノ如キ客觀的原因ヨリ商業道德上ノ批難ヲ招ク場合ノ多キノミナラス、更ニ企業者カ主觀的ニ不道德ヲ敢テスルノ誘惑ニ陥ルコトカ甚タ多イ。工場工業ニ資本ヲ固定セル企業家ハ、其工業ト浮沈ヲ共ニスルコトヲ必要トスルカラ、一時ノ利益ノ爲メ永遠ニ信用ヲ失墜スルカ如キ行動ヲ爲スヲ得ナイニ反シ、容易ニ資本ヲ回收シ得ル家内工業ノ企業者ハ到底事業其物ニ忠實トナリ難イ。又我輸出工業ノ一大缺點ハ年ト共ニ改良進

タル必シモ我企業家ニ改良進步ノ能力ヲ缺ク爲メニ起ルノテナク寧ロ彼等カ事業ト浮沈ヲ共ニスルノ覺悟ヲ以テ改良進步ニ苦心セス、容易ニ資本ヲ回收シ得ル家内工業組織ヲ採ツテ常ニ逃ケ腰ニナツテ居ル爲メテアル

家内工業ニ由テ生産セラルル輸出品カ相當ニ販路ヲ擴張スルニ至レハ、忽チ粗製濫造ヲ生シテ販路ヲ失フノ弊害ハ從來屢起ツタ。此弊害ノ主ナル原因ハ企業者カ卑近ノ利ニ惑ツテ事業ニ忠實ナラサル爲メテアリ、特ニ輸出ノ増進ニ伴フテ小規模ナ多數ノ家内工業力起ツテ無謀ノ競争ヲ爲スカ爲メテアルコトハ一般ニ認メラルル所テアルガ、此外ニモ家内工業ノ性質ヨリ來ル重大ナ理由カアル。工場工業ノ組織ヲ採ルトキハ販路ノ擴張ニ從ヒ生産ヲ益大規模ニシテ生産費漸減ノ利益ヲ生スル故、或ハ價格ヲ更ニ低廉ニシ、或ハ品質ヲ一層優良ニシテ多々益販路ヲ擴張スルコトカ出來ル。假令ヘ生産ノ急激ナ増加ニ由テ原料又ハ勞働ノ騰貴ヲ生スルコトアルモ、一方ニ大量生産ニ由ル生産費漸減ヲ生シテ之ヲ補償シ得ル故、私カニ品質ヲ粗惡ニシテ消費者ヲ欺クカ如キ手段ヲ採ルノ必要ハナイ。然ルニ家内工業組織ノ下ニ於テハ生産ノ増加ニ從フテ生産費ノ漸減ヲ見ルコトハ困難デアリ、

寧ロ其漸増ヲ來タス場合カ多イ。何トナレハ家内工業ノ最大ノ武器ト云ヘハ、戸主ノ收入ニ由テ生活スル婦女老幼カ其過剩勞働ヲ利用スル爲メトカ、又ハ農民カ農事閑散ノ時期ヲ利用スル爲メニ至廉ノ勞銀ニ甘ンシテ家内工業ノ勞働ヲ爲スコトテアルカ、此ノ如キ至廉ナル勞働ノ供給ニハ限リカアリ、從ツテ生産増加ノ爲メ勞働ノ需用ヲ増加スレハ忽チ勞銀カ高マリ、之カ爲メ企業者ハ以前ト同一ノ價格ヲ以テ注文ニ應スルコトカ不能トナル。然ルニ價格ヲ引上クレハ固ヨリ事業ノ發展モ販路ノ擴張モ出來ナイコトトナル。是レ家内工業ニ由ル生産物ハ輸出ノ増加ニ伴ヒ屢粗製濫造ノ弊ヲ生シテ自滅ヲ招ク重大原因テアル

#### 四 支那固有品ノ生産

對支輸出ヲ盛ンニスル爲メニハ第三ニ輸出品ノ種類ニ付テモ改善ヲ要スル點カアル。我カ對支輸出品ノ中海產物ヲ除ケハ概テ歐米人ノ生産ヲ摸倣シタモノデアツテ、之ト異ル所ハ我生産物ノ品質カ歐米品ヨリ劣等ナルノ一事テアル。歐米諸國カ外國ニ輸出スル重要品ヲ見ルニ、全ク輸出ノ爲メニ特別ニ生産セル種類ハ少ナク、通例ハ其生産ノ一部ヲ以テ國內ノ需用ヲ充タシ、他ノ部分ヲ輸出ニ向ケルシテ

アルガ支那ニ輸出スル歐米ノ重要品モ亦此例ニ漏レナイ。然ルニ日本人ト同様ニ支那人モ歐米トハ著シク生活慣習ヲ異ニシ、從ツテ支那人ノ需用スル日用品ノ中ニハ歐米品ト異ツタ支那固有ノモノガ多量ニ存在シ、今日ハ支那人自カラ之ヲ生産シツツアルコト、恰モ日本人カ特有ノ需用ヲ充タス爲メニ廣大ナル固有産業ヲ有スルト同様テアル。故ニ吾人ニシテ東亞ノ市場ニ優越ノ地位ヲ占メントスレハ獨リ歐米品ヲ模造スルニ止マラス、更ニ進ンテ東亞固有ノ産業ヲ大ニ開拓セ子ハナラヌ

世人ノ云フ如ク我カ對支輸出品カ歐米ヲ模倣シテ之ニ及ハサル底ノモノヲ主トスルコトハ、支那人ヲシテ日本ニ對シ侮蔑ノ念ヲ起サシメ、政治上社會上重大ノ不利ヲ生スルコトモアルテアラウガ、更ニ經濟上ヨリ見ルニ支那四億ノ人民カ其固有日用品ニ付テ莫大ノ需用ヲ有スル上ハ、吾人ノ手ニ由リ之ヲ充足シテ初メテ我對支貿易ヲ充分ニ發展セシムルコトカ出來ルノテアル。吾人カ此方面ノ開拓ニ付テ特ニ利益ヲ感スル所以ハ、獨リ歐米人カ未タ多ク之ニ着手セスニ取り殘サレテアルノミナラス、吾人ハ此方面ノ開拓ニ付キ歐米人ニ比シテ特ニ長所ヲ有スルト同時ニ、之ヲ開拓スルコトハ吾々自身ノ需用ヲ充タスニモ必要ナ爲メテアル。日支

而國民ノ生活慣習ニハ種々ノ相違カアルトハ云ヘ、根本ニ於テハ彼我共通ノ點カ甚タ多イ。今日我國ノ家屋被服ヲ初メ日常ノ飲食品家具什器等ノ大部分ハ、其源ニ遡レハ支那ヲ摸倣シタモノデアツテ、年所ヲ經ルニ從ヒ地方的變化ヲ生シタノニ外ナラス。故ニ我國ノ固有産業ト稱スルモノニ科學ト資本ノ力ヲ加ヘテ之ヲ現代化シ、以テ日支共通ノ需用ニ應スルモノトスルコトハ必シモ困難テナイ。特ニ初メノ間ハ粗製ノ過程ニ於テ彼我共通ノモノヲ生産シ、更ニ之ヲ精製スルニ方ツテ内地向キト支那向キトニ由リ適當ノ變化ヲ加フルカ如キ方法ヲ探テ進ミ、生産ノ廉價ト良質トニ由テ彼我ノ趣味需用ヲ漸次接近渾一セシメルトキハ、茲ニ歐米ノ力ノ侵入シ難キ大々的ノ東亞特有市場カ成立シ、吾人ニ經濟上無限ノ活動ヲ爲スノ舞臺ヲ與フルコトナルノデアアル

我國ノ固有産業ニ對シ産業革命ヲ加ヘテ之ヲ現代化スルノ必要ハ兼テ予輩ノ主張スル所デアルガ、之ヲ現代化スルニ方ツテ探ルヘキ有利ナ且ツ自然的ナ方針ハ、日支共通ノ需用ヲ充足スルノ目的ヲ立テテ進ムコトデアアル。我カ固有産業ニ對シテ産業革命ヲ行フニアラサレハ、我國ハ到底貧弱ノ域ヲ脫スルコトヲ得ナイガ、假令ヘ之ニ産業革命ヲ行フトシテモ、之ヲ日支共通ノモノトスルノ方針ヲ探ラス、今



日ノ如ク單ニ國內市場ノミニ適スルカ如キ孤立的ノモノトスルトキハ第一ニ其生産額カ少ナク從ツテ大量生産ニ由ル改良進歩ノ利益ヲ擧ケ難イノハ勿論生産額カ小量テアレハ産業革命ヲ行ヒ得サル場合カ多クナル。第二ニ生産物カ内外共通ノ大市場ヲ有セサルトキハ彼我ノ過不及ヲ平均セシメテ物價ノ變動ヲ防キ産業ノ危險ヲ減少シテ之ヲ安全ニ發達セシムルヲ得ナイ

## 五 支那ノ產物ノ輸入

生産ノ目的ハ消費ニ在ル如ク國際貿易ニ於テ輸出ノ目的ハ輸入ニ在ル。世ノ貿易ヲ談スル者ハ如何ニシテ輸出ヲ増進スヘキヤニ注意ヲ奪ハレテ輸入ノ方面ニ注意ヲ怠ルコトカ多イノデアルガ此兩方面ニ此ノ如キ輕重ノ差ヲ附スルコトハ誤リテアル。歐洲諸國カ經濟上偉大ノ發達ヲ爲シ得タ所以ハ彼等カ汎ク世界各地ノ產物ヲ輸入シテ之ヲ自己ノ生活ニ利用シタ爲メテアルガ吾人モ眼前ニ横ハル廣大ナ東亞大陸ノ產物ヲ如何ニシテ自己ノ生活ニ利用シ得ヘキヤヲ考ヘネハナラヌ。國民經濟ヨリ見テモ貿易ニ從事スル者ノ私經濟ヨリ見テモ輸入貿易ト輸出貿易トハ其利益ニ於テ差別ハナイ。然ルニ政治家ヤ實業家カ支那貿易ニ付テ獨リ輸

出ノ方面ヲ力説スルコトハ、經濟上誤レルノミナラス、支那人ヲシテ無用ノ誤解ヲ生セシメ、日支兩國ノ親和ヲ妨ケルノ虞ナシト云フヲ得ナイ。我カ生産ニ對シテ支那ヲ最要ノ得意タラシムルト同時ニ、支那ノ生産ニ對シテハ吾々自身カ最要ノ得意トナルカ如ク努力スルコトニ由テ初メテ吾々ハ東亞經濟ノ支配者タル地位ニ發展シ得ルノテアル

更ニ對支輸出ヲ増進スル上カラ見テモ支那ノ產物ヲ大ニ輸入スルノ必要カアル。從來支那ハ屢革命亂ニ由テ經濟上大損害ヲ蒙ツタニ係ハラス、其貿易ハ着々増進シ、特ニ我對支輸出ハ好成績ヲ擧ゲテ、殆ント革命亂ノ影響ヲ其上ニ認メルコトカ出來ナカツタ。是レ主トシテ支那カ年々借款ヲ起シテ巨多ノ外資ヲ輸入シタル結果、戰亂ニ係ハラス其購買力ヲ増加シタ爲メテアル。然ルニ歐洲戰爭ニ由ル莫大ナ資本ノ消耗ノ爲メ、今後支那カ外資ヲ輸入スルコトハ甚タ困難テアリ、從ツテ支那ノ購買力ノ増進モ遲々タラサルヲ得ナイ。又支那ハ米國ノ如ク戰後ノ歐洲カ最も多ク需用スル貨物ヲ之ニ供給スルヲ得ナイ爲メ、其對歐輸出カ著シク増加シテ購買力ヲ大ナラシムルコトモ困難テアル。故ニ支那ノ購買力ヲ増加シテ我カ對支輸出ヲ盛ンニセントスレハ、我國自カラ支那ノ產物ヲ多量ニ買取ツテ之ヲ利用スル

ノ途ヲ講セテハナラヌ。勿論之カ爲メニ支那ノ購買力カ増進シテモ其購買力ハ歐  
米品ノ需用ニモ向ケラレテ我國品ノ購買ニ之ヲ獨占スルコトハ出來ナイガ過去  
ニ於テ支那ノ外資輸入ニ由ル購買力増進ノ爲メニ貿易上最モ多ク利益シタ國ハ  
債權者タル歐米テハナクテ我國テアツタ如ク今後モ其購買力カ増進スレハ我國  
品カ最モ多ク需用セラルルノテアル。特ニ戰後ノ歐洲ニ於ケル物價カ容易ニ舊位  
マテ低落シナイトスレハ支那ノ購買力ヲ我國品ニ引キ付ケルノ望ハ益大テアル。  
我國カ滿洲ニ對シテ多額ノ輸出ヲ爲スニ至ツタ一大原因ハ滿洲ニ大豆ノ耕作カ  
發達シテ其住民ノ購買力カ増加シタ爲メテアルガ此大豆耕作ノ發達シタ原因ハ  
舊テ用途ノ少ナキニ苦ンタ豆糟ヲ我國カ盛ンニ買取ツテ之ヲ肥料トシタコトテ  
アル。今後我國カ石鹼製造ノ如キ方法ニ由テ其大豆油ノ輸入利用ヲ盛ンニスレハ  
大豆耕作カ更ニ發達シテ我カ對滿輸出モ増加スルテアラウ。此事實ニ由テ見ルモ  
支那ニ對シテ輸出ヲ盛ニセントスレハ同時ニ輸入ヲ盛ンニスルノ必要ナコトカ  
明カテアル

我國カ支那ノ產物ニ對シテ有利ナ市場トナレハ自然ニ其生産カ支那ニ發達スル  
コトトナルガ併シ吾々ハ此ノ如キ自然ノ發達ヲ待タス更ニ進ンテ直接ニ其發達

ヲ助ケテハナラヌ。其方法トシテハ第一ニ支那人ノ經濟上ノ智識ヲ進歩セシムル  
コトヲ必要トスル。此點ヨリシテ吾々カ支那人ノ教育ニ付テ努力シ、又支那ノ官民  
ニ對シテ經濟上ノ助言ヤ指導ヲ爲スコトモ重要デアルガ、更ニ支那ノ制度ニシテ  
我國ノ需用スル物產ノ發達ヲ妨クルカ如キ不當ノモノヲ改メシムルコトハ直接  
ニ效力カアル。吾人カ支那ノ產物ノ中最モ多ク需用スルモノハ土地生産物就中農業  
ノ產物デアルガ、支那ノ基本產業タル農業ニ對シテ重大ノ障礙ヲ爲ス所ノ制度ノ  
一ハ穀物輸出禁止即チ防穀令デアル。此防穀令ハ我國ノ食物問題ニ對シテ重大ノ  
關係ヲ有スルモノデアルガ、之ニ付テハ既ニ屢論シタカラ茲ニハ省略スル。第二ニ  
ハ資本ト企業者トノ力ニ由テ支那ノ生産ヲ助ケルコト即チ支那ニ投資ヲ行フコ  
トデアル。大冶鐵山ニ資本ト企業能力トヲ借シテ我製鐵業ニ鑛石ヲ供給セシムル  
カ如キハ其一例デアル。我國ニハ資本カ不充分デアルカラ、主トシテ企業者ノ手腕  
ニ依頼シ、資本ハ割合ニ小額ヲ以テ足ルカ如キ事業ニ投資スルコトカ得策デアル。  
資本ノ豊富ナル歐米人ノ支那ニ於ケル投資ハ巨大ノ資本ヲ要スルモ經營ハ割合  
簡單ニ行ハルル事業特ニ鐵山及鑛山ノ如キ事業ヲ最モ適當トスルデアラウガ、我  
國人ニハ資本ノ必要少ナキモ經營ノ稍複雑ナル工業投資カ適當デアル。種々ノ工

業ニ付キ粗製ノ過程ヲ支那ニ行フタ上更ニ之ヲ内地ニ移シテ精製スルノ有利ナル場合モ起ルテアラウガ目下切迫セル工業投資問題ハ後ニ論スルガ如ク我工業家カ低級品ノ生産ニ付テハ支那ニ之ヲ營ミ内地ノ工場ニ於テハ漸次高級品ノ生産ヲ盛ンニスルコトテアル

支那ノ產物ヲ輸入シテ之ヲ利用スルニハ種々ノ方面カアル或ハ之ヲ以テ國內ノ需用ヲ充タス場合カアル豆糟ヲ輸入シテ之ヲ我農業ノ肥料トスルカ如キハ其一例テアルガ更ニ我國ノ米價ノ暴騰セル場合ニ外國米ノ中日本米ニ品質ノ最モ類似セル楊子江沿岸ノ支那米ヲ輸入スルノ方法ヲ立ツルカ如キハ今後は非トモ實行セネハナラヌ一例テアル或ハ支那ノ物產ヲ輸入シテ獨リ之ヲ國內ノ需用ニ充ツルノミナラス更ニ輸出増進ノ爲メニ之ヲ利用スルコトテアル此方面ニ付テモ研究ヲ要スル事柄ハ甚タ多イ一例ヲ舉クレハ我國ノ輸出品ノ大宗ハ生糸テアルガ購買力ノ大ナル歐米ニ對シテ我國ハ生糸以外ニ重要ノ輸出品ヲ見出シ難イ故將來モ世界市場ニ於ケル生糸ノ供給ニ付テハ永ク優越ノ地位ヲ保ツノ必要カアル然ルニ土地廣ク人口多キ支那ニ於テ養蠶ノ發達スル可能ノ程度ハ到底我國ト比較ニナラヌ廣大ナモノテアリ支那ノ進歩スルニ從ツテ生糸供給上我國ニ對シ

恐ルヘキ競争者トナルテアラウ。我國ハ土地カ不足シテ收穫漸減法則カ迅速ニ働キ、加フルニ一般勞銀ノ騰貴モ固ヨリ支那ニ比シテ著大テアル。故ニ普通勞働ヲ多ク要スル所ノ養蠶ニ付テハ支那ニ比シテ次第ニ不利ニ陷ラネハナラス。左レハ生糸ノ生産過程ノ中低級ナル養蠶ニ付テハ、生活程度ノ低キ支那ト永ク競争スルノ方針ヲ探ルコトハ不利テアル。我國ハ其生産過程ノ中ノ高級ニ屬スル製糸製織ノ工業ニ多ク發展シ、之カ爲メニハ支那繭ヲ 入利用スルコト、尙ホ今日綿花ヲ輸入シテ紡績織布ヲ發達セシムルト同様ニスルコトカ、必要テアラウ。固ヨリ近キ將來ニ於テ我國ニ養蠶ヲ全ク廢止スルコトハ不利且ツ不能テアルガ、同シク養蠶ヲ爲スニ付テモ高度ノ技能ト完全ノ設備トヲ要スル優良ノ繭ヲ作ル方針ニ進マテハナラス。元來我國ト支那トハ氣候風土ト生活慣習ノ相類スル點多キカ爲メ、自然ニ同種ノ生産ヲ爲ス場合カ多ク、從ツテ又世界市場ニ於テ互ニ競争ノ地位ニ立ツ場合モ多クナルノテアルガ、此ノ如キ場合ニ我國ハ常ニ其生産ノ中ノ高級ノモノニ多ク力ヲ用ヒ、低級ノモノハ之ヲ支那ニ行ハシメテ成ルヘク之ヲ利用スルコトヲ必要トスル。前ニ我國ノ工業ハ東亞ノ固有産業ニ革命ノ手ヲ下タシ、日支共通ノ特産工業ヲ發達セシムルノ必要ヲ論シタガ、此種ノ工業ニ必要ナル原料粗製品ノ供給

ニ付テモ最モ多ク支那ノ農業ニ依頼スルコトカ必要テアラウ。此外我工業界ノ一大缺點ハ金屬工業ノ不振ナコトテアツテ、之カ爲メ國防上ノ缺陷ヲモ感スルノテアルガ、其主ナル原因ハ石炭ト銅ノ外ニ重要ノ礦物ノ缺乏セルコトアル。然ルニ支那ニ於テハ鐵ヲ初メ各種ノ礦物カ多量ニ存在スル故、之ヲ利用シテ金屬工業ノ發達ヲ圖ルノ必要カアル。牧畜ノ不振ナル我國ニ取ツテハ支那ノ畜產物就中毛ト皮トハ、我工業ニ對シ重要ノ意義ヲ有スルニ至ルテアラウ。要スルニ支那ノ物產ノ輸入利用ニ付テハ世人ノ注意カ從來甚タ不充分テアツタガ、今後ハ此方面ニ於テモ大ニ發展セテハナラヌ。

## 六 支那ニ於ケル工業投資

最後ニ貿易ニ關聯シテ支那ニ對スル工業投資ノ問題ヲ考ヘテ見タイ。今回日支新條約ノ成立ト同時ニ日支銀行設立論又ハ支那投資團組織論カ盛ンニナツタ。此等ノ投資計畫ノ内容ハ人ニ由テ同一テナイガ、從來歐米諸國ノ爲セシ如ク支那ニ鐵道鑛山等ノ利權ヲ得テ之ニ投資スルコトハ其重要ノ項目トナツテ居ル。予輩ハ此種ノ投資機關ヲ全然無用視スルモノテナイガ、之ニ多クノ望ヲ囑スルヲ得ナイ。

歐米ニ於ケル對外投資機關ノ活動ヲ見ルニ、外國ニ於テ鐵道鑛山等ニ付キ有望ノ事業ヲ見出セハ、之ニ資本ヲ投シテ會社ヲ組織シ、其株式ヤ社債ヲ國內ノ金融市場ニ賣捌クノテアル。低利ニ満足シテ投下ノ途ヲ求メツツアル資本カ巨額ニ存在シ、特ニ英佛獨ノ如キハ年々十億又ハ二十億ノ資本カ海外投下ノ途ヲ求メツツアル故、此有價證券ハ容易ニ金融市場ニ消化セラレテ投資機關ハ事業ニ資本ヲ固定スルコト少ナク、一事業ノ投資ヲ了レハ迅速ニ其資本ヲ回收シテ更ニ他ノ事業ニ投資シ、絶ヘズ資本ヲ回轉シテ其間ニ利益ヲ擧ケテ行ク。即チ此種ノ機關カ有利且ツ安全テアルノハ、一ニ國民ノ不斷ノ對外投資ヲ仲立媒介スルカ爲メテアツテ、若シ自己ノ資本ヲ投資事業ニ固定スルトキハ失敗ニ終ラサルヲ得ナイ。然ルニ年々ノ新事業ノ計畫僅カニ三四億ニ過キス、實際ノ拂込ハ其半額ニ止マルカ如キ資本ノ貧弱ナル我國ニ於テハ、此種ノ機關カ迅速ニ其有價證券ヲ國內市場ニ處分シテ絶ヘズ資本ヲ回轉スルコトハ不能テアリ、少數ノ事業ニ之ヲ固定シテ失敗スルノ危険カ甚タ大テアル。

海外投資ニ關スル動産銀行の企業カ上述ノ如ク今日ノ我國ニ困難ナルコトハ、此機關カ直接ニ外國事業ノ證券ヲ金融市場ニ賣出ス代リニ自己ノ債券ヲ發行ス



ルコトトシテモ略ホ同様テアツテ、此方法ニ由リ特ニ好成績ヲ舉クルノ望ハ少ナイ。假リニ政府カ此債券ニ保證ヲ與ヘルト云フカ如キ方法ヲ以テ對外投資ニ特別ノ保護ヲ加ヘテ見テモ、其結果ハ恐ラク大同小異ニ止マルテアラウ。何故ナレハ我金融界ハ時トシテ緩慢ニ苦シムコトモアルガ、平素ハ資本ノ缺乏ノ爲メ國內ノ相當ナ事業スラ低利ニ資本ヲ集メルコトハ容易テナク、從ツテ投資媒介ノ爲メ特ニ設立セラレタ日本興業銀行カ政府ヨリ種々ノ保護ヲ受クルニ係ハラス、其營業ハ常ニ不振ニ陥ツテ居ル有様故、安寧秩序ヲ缺キ且ツ經濟事情モ不明ナル外國ノ事業ニ對シテハ、特別ノ投資媒介機關ノ成立ヲ必要トスルホド盛ンニ資本ノ投下セラルルコトハ望マレナイカラテアル。況ンヤ平素ハ國內ノ諸事業カ資本ノ不足ヲ訴ヘツツアル我國ニ於テ、政府カ故ラニ此資本ヲ割テ之ヲ海外ニ持去ルコトヲ獎勵スルカ如キ制度ヲ設クルコトハ穩當ト云ハレナイ。此獎勵策ハ海外投資ニ付テ別段ノ効果ナキニ係ハラス、其形式ヨリ見レハ經濟上外國ニ對シテ國家的侵略ヲ行ウト云フ體裁トナル故、外國ヲシテ無益ニ誤解惡感ヲ生セシムルノ不利カアル。我カ植民地又ハ條約上ノ勢力範圍ニ對シテナラハ兎モ角、獨立國ニ對シテ投資收策ヲ探ラントスレハ慎重ノ態度ヲ以テセネハナラヌ。固ヨリ我國ハ資本ニ貧弱ナ

リトハ云へ、今後經濟ノ進歩スルニ從フテ東洋諸國ニ對スル投資起業力次第ニ盛ントナルコトハ爭ハレナイガ併シ其投資ノ最重要ナモノハ世人ノ論スルカ如キ空漠不定ノモノテナク貿易ニ關係アル大企業カ自助自衛ノ爲メニ實行ヲ要スル具體的ノ投資方法カ別ニ存在スル

低級工業品ノ生産ハ之ヲ支那ニ於テ行フコトノ次第ニ有利トナリツツアルハ前ニ述ヘシ如クテアルガ從來低級品ノ生産輸出ニ重キヲ置イタ我工業家カ今後支那ニ於ケル低級品生産ノ發達ニ由テ打撃ヲ蒙ムルコトヲ免ルルノ途ハ自カラ進シテ支那ニ低級品工業ヲ設立シ又ハ既設ノ工場ヲ買收シ内地ノ工場ニ於テハ漸次高級品ノ生産ニ重キヲ置クコトトスルノ外ハナイノテアルガ同時ニ此種ノ投資コソ我國ニ取ツテ最モ有望ナモノテアル鐵道ノ如キ事業ト異ツテ工場ノ設立買收ニハ必シモ多大ノ資本ヲ要シナイ又收支相償フニハ必シモ長日月ヲ要シナイ從ツテ此種ノ投資ヲ爲スニ付テハ我國モ敢テ資本ノ不足ヲ訴ヘナイ支那貿易ニ於テ我工業家ノ最モ苦痛トスル所ハ銀相場ノ變動力瀕繁ニ起ツテ企業上ノ危險ヲ大ナラシムルコトテアルガ支那カ貨幣制度ヲ改革シテ金本位ニ移ルコトハ容易テナイ特ニ今回ノ歐洲戰爭ノ爲メニ支那カ借款ヲ起シテ幣制改革ノ資金ヲ

得ルノ望モ減少シタ。故ニ我工業家ハ近キ將來ニ於テ銀相場變動ノ爲メニ生スル企業上ノ危險ヲ脱スルヲ得ナイテアラウ。然ルニ今工業家カ日支兩國ニ工場ヲ設ケテ生産ヲ營ムトキハ此危險ヲ免ルルコトカ出來ル。即チ銀相場カ騰貴シテ内地工場品ノ輸出カ不振トナレハ、他面ニ支那ノ工場カ夫レ丈ク發展シテ利益ヲ擧ケ、反對ニ銀相場下落ノ爲メ支那ノ工場カ不利トナレハ、同時ニ内地工場品ノ輸カ増加シテ之ヲ填補シ、以テ營業ノ基礎ヲ安固ナラシメルカラテアル。特ニ歐洲戰爭ニ由リ莫大ノ資本ヲ消耗セル爲メ今後支那ヤ印度ニ對スル歐米ノ投資ヲ減少シ、其結果銀ノ需用カ減シテ其相場ヲ下落セシムルノ趨勢カアリトスレハ、支那ニ工場ヲ設クルノ必要ハ益大トナル。只タ疑問トセラルル點ハ我工業家ニ果シテ其能力アリヤ否ヤテアルガ、此點ニ付テ吾人ハ必シモ憂フルヲ要シナイ。寧ロ大ニ有望テアルコトカ既ニ實際ノ經驗ニ由テ着々證明セラレツツアル。低級工業ノ勃興ハ支那ニ於ケル大勢テアルトハ云ヘ、支那人ノ經營ニ係ハル工場ハ種々ノ原因ヨリ概テ不成績テアル。又歐米人ノ經營セル工場モ成績良好トハ云ハレナイ。是レ歐米人ハ生活程度高キヨリ多大ノ生活費ヲ必要トスル上ニ、言語風俗思想等ノ著シキ相違ノ爲メ支那人ヲ使用スルニ付テ種々ノ不便不利ヲ有スルカラテアル。然ルニ

我國人ハ工業經營ニ付テハ支那人ヨリモ大ナル能力ヲ有シ。又歐米人ノ如ク多大ノ生活費ヲ必要トセサル上ニ、同種、同文ノ關係上支那人ヲ使用シテ圓滑ニ仕事ヲ運フコトモ歐米人ニ勝ツテ居ル。其結果我國人ノ手ニ在ル工場ハ概テ最良ノ成績ヲ擧ケツツアル。

支那ニ於テ低級工業カ勃興シツツアリトハ云ヘ、外國品ノ競爭就中同シ低級品ノ輸入ヲ主トスル日本ノ競爭ニ對抗スルコトハ頗フル難事テアツテ、支那人工業家ハ其進歩的政治家ト共ニ之カ對抗策ニ付キ苦心慘憺ノ狀ニ在ル。近年ノ銀相場ノ下落ハ支那ノ工業勃興ニ對シ大ニ自然的保護ノ效果ヲ生シタコトハ、尙ホ銀本位時代ニ於ケル我國ノ事情ト相類スルガ、同時ニ支那ハ列國共同ノ條約ニ由テ稅權ヲ束縛セラレテ居ル爲メ、後進國ノ工業保護ノ良方法ト認メラルル關稅保護ヲ實行シ得ナイト云フ苦痛ヲ嘗メツツアルコトモ、亦稅權束縛時代ノ我國ト相似テ居ル。只タ我國ハ幼稚ノ工業ヲ先進國ノ競爭ニ對シテ保護スルカ爲ニ交通機關ノ發達ト教育ノ普及トニ力ヲ注テ好成績ヲ得タガ、國家組織ノ不完全ナル支那ニ於テハ此等ノ制度ヲ發達セシムルコトカ遙カニ困難テアル。故ニ支那ノ實業家ト政治家トハ他ノ何等カノ方法ニ由テ工業保護國產獎勵ヲ實行スルノ必要ニ迫ラレテ

居タガ、彼等ハ從來政治上ノ原因ヨリ支那ニ屢起ツタ所ノ外國品非賣同盟運動ヲ以テ其目的ヲ達スルニ好都合ナルコトヲ發見シ、今回支那人ヲシテ甚シキ屈辱ヲ感セシムル所ノ日支新條約ノ成立ヲ機會トシ、未嘗有ノ大規模ヲ以テ日貨排斥運動ヲ支那全土ニ亘ツテ實行シタ。元來外貨排斥運動ナルモノハ一面排斥國自身ニモ大ナル苦痛ヲ與ヘルモノテアツテ、國民ノ敵愾心ニ由リ一時或程度ニ實行シ得テモ到底久シク繼續スルヲ得ナイ性質ノモノテアルガ、併シ今回ノ排貨運動ハ從來ノ夫レト異リ、單ニ政治上ノ理由ノミニ由ルモノテナク、幼稚ナル國內工業ノ保護ト云フ經濟上ノ痛切ナ要求ヲモ根據トシ從ツテ其運動ヲ維持シ援助スルニモ以前ノ如ク單ニ書生ヤ論客カ中心トナツテ、競爭關係ニ立ツ外國商人カ裏面ヨリ或程度ニ之ヲ援助スルカ如キモノテハナク、各地ノ重立チタル實業家モ結束シテ表面ニ立チ、背後ヨリ政府又ハ少クトモ政治家カ之ヲ助ケタノテアル。是レ實ニ今回ノ運動カ國產獎勵ヲ標榜シテ秩序的ニ全國ニ普及シ、且ツ久シク繼續スルヲ得タ所以テアル。今後支那ニ於テ實業家ノ國產獎勵ノ要求カ益痛切ナルコトカ明カテアルカラ、最モ多ク之ト競爭關係ニ立ツ我國ノ貨物ニ對シテ排斥運動カ屢起ルノ危險カアルコトヲ覺悟セネハナラス。此運動ニ對抗スルノ方法トシテハ、前ニ

述ヘタ如ク對支輸出品ハ支那自身モ生産シ得ルカ如キ低級品ヲ主トセス、更ニ高級品ノ輸出ヲ増加スルコトヤ、支那ノ產物ヲ大ニ輸入シ、支那人ヲシテ經濟上日本ノ好意ヲ損スルコトヲ憚ルノ念ヲ強フセシムルコトモ相當ノ効果ハアルテアテウガ、更ニ根本的ノ方法ハ既ニ今回ノ實驗ニ徴シテモ明カナルカ如ク、日本人自カラ支那ニ於テ工業ヲ經營シ、又ハ日支人相合同シテ之ヲ經營スルコトテアル。吾々ハ今後苟クモ支那ニ於テ有利ニ起シ得ル工業カアレハ、盡ク之ヲ日本人ノ手ニ由リ、又ハ日支合辦ニ由テ經營スルコトヲ理想トシテ進マテハナラヌ

支那ノ稅權カ列國ニ由テ束縛セラレテ居ルコトハ前ニ述ヘタガ、國產獎勵ノ意味ヲ離レ、單ニ支那ノ財政ヲ維持シテ國家ノ獨立ト秩序ヲ保ツ必要ヨリ云フモ、特ニ巨額ノ外國借款ヨリ起ル債務ノ支拂ヲ確實ニスル爲メニモ、輸入稅增加ノ外ニ適當ノ財源ヲ見出スコトハ至難テアル。故ニ苟クモ支那ノ獨立存在ヲ認メントスレバ、今後次第ニ關稅ヲ引上クルコトヲモ認メサルヲ得ナイ。關稅ヲ定メル標準トシテハ一般ニ從量稅ヲ適當トスルガ、支那ノ如ク行政ノ不完全ナ國ニ於テハ特ニ從量稅ヲ採ラシムルコトカ必要テアル。然ルニ從量稅ニ由レハ其負擔カ上等品ニ輕ク下等品ニ重クナルヲ免レナイ、從ツテ將來支那ノ關稅カ引上ケラレル場合ニハ、

歐米ヨリモ廉價ノ下等品ヲ多ク輸入スル所ノ我國カ最モ強ク損害ヲ蒙ラ子ハナ  
ラヌ。特ニ支那ヘノ輸入ニ付テハ我國カ一年ニ金額ヲ増加シテ遙カニ歐米ヲ凌  
駕スルノ形勢カアルカラ、將來ノ關稅引上ケハ、我國カ最モ多ク之ヲ負擔セ子ハナ  
ラヌ。此ノ如ク支那ノ關稅引上ケニ由テ歐米ノ蒙ムル損失ハ小ナルニ反シ、之ト競  
爭スル我國ハ獨リ大損失ヲ蒙ムルノミナラス、支那ニ多額ノ資本ヲ貸付ケテ居ル  
歐米ハ關稅收入ノ増加ヲ利用シテ其債權ヲ安固ナラシムルコトモ出來ル。歐米諸  
國ト我國トノ政治上ノ親疎ノ關係ハ區々テアルガ、經濟上ヨリ彼等ハ一樣ニ日本  
カ東亞市場ニ於テ著シク勢力ヲ増進スルコトヲ憂慮シ、常ニ我カ發展ヲ抑ヘント  
シツツアル。彼等ハ競爭心ノ昂奮ニ由テ自カラ多少ノ損失ヲ蒙ムルモ、尙ホ日本ニ  
對シ遙カニ大ナル損失ヲ蒙ラシムルノ方法カアレハ、敢テ之ヲ辭セサルカ如キ傾  
向ナシト云フヲ得ナイ。此等ノ事情ヨリ考フルニ支那ノ關稅引上ケ運動ニ對シ、歐  
米諸國ハ決シテ我國ノ如ク頑強ニ反抗シナイテアラウ。若シ彼等ニシテ其引上ケ  
ヲ承認スルトキハ、我國カ獨リ之ニ反抗シテ何時マテモ引上ケヲ不能ナラシムル  
コトハ困難テアル。故ニ今後支那ノ關稅ハ一時ニ多ク引上ケラレルコトハアルマ  
イガ、併シ年ヲ經ルニ從フテ次第ニ増加セラレルモノト覺悟セ子ハナラヌ。然ルニ

關稅ノ引上ケハ無論支那ニ於ケル工業ノ勃興ヲ保護スルコトナツテ、直接ニ我對支貿易ニ打撃ヲ加ヘル。此打撃ニ對スル自衛ノ方法ニハ種々アルガ、根本的ノモノハ矢張り我工業家カ支那ニ於テ工業ヲ經營スルコトテアル。伊太利カ關稅ヲ引上ケントスレハ英國ノ工業家ハ進ンテ伊國內ニ工業ヲ起シ、露西亞カ保護稅ヲ高メントスレハ獨逸ノ工業家ハ露國內ニ工場ヲ設ケテ之ニ對抗スルト云フカ如ク、我國ノ工業家モ亦支那ノ關稅引上ニ對シテ同様ノ手段ヲ採ルコトヲ得策トスル。固ヨリ支那ノ關稅引上ケハ將來ノ未必事件テハアルガ、併シ愈其引上ケカ決行セラレタ時急ニ工場ノ新設又ハ買收ヲ有利ニ行フコトハ困難テアルカラ、今日ヨリ工業投資ヲ行フテ將來ニ備フルコトカ得策テアル。

此ノ如ク支那ニ對シテ工業投資ヲ爲スコトハ我工業ノ自衛上必要トスル所テ、又此投資ハ有望ナモノテアルガ、一部ノ論者ハ此ノ如キ投資ヲ以テ甚タ非愛國のナリト批難スル。其說ニ曰ク、純然タル營利的見地ヨリスレハ此種ノ投資ハ必要又ハ有利テアルトシテモ、之ニ由テ支那カ低級工業品ニ付キ自給自足トナル丈ケ我國ノ工業界ハ打撃ヲ蒙ラサルヲ得ナイ。實力ノ充分ナル大企業家ハ內國ノ工場ニ於テ高級品ノ生産ニ多ク力ヲ注キ、同時ニ支那ニ工場ヲ設ケテ低級品ヲ生産スルコ



トモ出來ルカ我工業家ノ多數ハ資力カ乏シクテ此ノ如キ海外投資ヲ爲スノ餘裕  
カナイ。故ニ資力大ナル小數者ノ支那投資ハ多數ノ内地小工業ヲ苦シメ、甚シキハ  
之ヲ死地ニ陷レルテアラウ。此ノ如キハ甚シキ非愛國の行動テアルト。併シ乍ラ大  
企業カ小企業ヲ倒スコトハ國內ノ經濟界ニ於テモ絶ヘス行ハレツツアル。無數ノ  
家内工業ヤ手工業カ倒レテ比較的小數ノ工場カ之ニ代リ、更ニ大工場カ起ツテ中  
小工場ヲ倒シ、日ニ月ニ企業集中ノ步ヲ進ムルコトハ今日ノ大勢テアル。故ニ大企  
業家ノ支那投資カ國民經濟上有益ノ事柄テアル以上ハ、之カ爲メニ勢力ノ弱キ小  
企業ヲ不利ニ陷レルモ之ヲ顧ルニ遑ハナイ。加之如何ニ大企業家カ支那投資ニ努  
力スレハトテ、種々ノ障礙カ起ツテ其進行ヲ妨ケルカラ、内地ノ多數工業家ヲシテ  
時勢ニ必要ナル方向轉換ヲ爲スノ猶豫ヲ得セシメサルカ如ク急激ニ投資ヲ實行  
スルコトハ不能テアル。

支那ニ對スル工業投資ハ徐ロニ行ハルルニセヨ、其實行カ内地ノ低級品生産者ニ  
打撃ヲ加ヘル場合カ起ラナイト斷言スルコトハ出來ナイガ、併シ之カ爲メ我國人  
カ支那投資ヲ差控ヘテ見テモ、支那人自身カ工業ヲ起シ又歐米人モ之ヲ起シテ結  
局同様ノ結果トナル。若シ我國人ノ支那工業投資ヲ以テ非愛國のナリト批難スル

ナラハ、我國ヨリ支那ニ對シテ工業ニ要スル機械器具ヤ綿糸其他ノ製造原料ヲ輸出スルコトモ、日支銀行ヲ立テテ支那ノ企業ニ金融ノ便ヲ與フルコトモ、支那人ノ教育ニ從事シ又ハ工業上ノ智識ヲ與フル書物ヲ之ニ販賣スルコトモ同様ニ批難セテハナラス。今回日貨排斥運動カ初マルト共ニ支那カラ多數ノ織機其他ノ染織工業用品ノ注文カ來タト云フコトアルガ、論者モ此注文ニ應スルコトハ支那ノ日貨排斥ノ目的タル國產獎勵ヲ助クルカ故ニ之ヲ拒絕スヘシトハ云ヒ得ナイテアラウ。今ノ世ニ於テ吾々ハ支那國民ヲ愚ニシ、之ニ對シテ賴ラシムヘク知ラシムヘカラサルノ政策ヲ行フコトハ不能テアル。論者ノ懸念スル點ハ支那ニ工業投資ヲ行ヘハ夫レ丈ケ永久ニ内地工業ノ損失ヲ生シ、特ニ今日低級品生産ニ從事シツツアル多數勞働者ノ職業ヲ奪フノ結果ヲ生セサルヤト云フコトアラウガ、此ノ如キ懸念ハ無用テアル。若シ我國一般ノ企業者ヤ勞働者ニシテ今日ノ如ク低級工業ニ多ク從事スルノ外ニ活動スルノ能力ヲ有セサル者テアルナラハ、論者ノ憂フルカ如キ結果モ生スルテアラウガ、我企業者ヤ勞働者ハ永久ニ低級生産ニ多ク從事セサルヘカラサルカ如キ無能力ナ者テハナク、兩者共ニ日ニ月ニ進歩スルノ能力ヲ有シテ居ル。故ニ吾々ハ企業者ニ大ナル利潤ヲ與ヘ又勞働者ニ大ナル工資ヲ

與フルカ如キ高級ノ生産ヲ着々發展セシメ、微少ノ工賃ニ甘ンセサルヲ得サルカ  
如キ低級ノ生産ハ、一日モ早ク之ヲ生活程度ノ低キ後進國民ニ一任シ得ルノ境地  
ニ進ムヘク努力セ子ハナラヌ。若シモ企業者ニシテ我勞働者ヲ無能力視シ、之ニ職  
業ヲ與フルニ必要ナリトシテ何時マテモ低級工業ヲ維持シ、彼等ヲシテ高級生産  
ニ進マシムルノ機會ヲ與ヘナカツタナラハ、是レゾ最モ非愛國的ニシテ又勞働者  
ニ對シ最モ無慈悲ナ處置テアル